

2025 年度「ベトナムでの英語による多文化共修研修」成果報告

ベトナム・ホーチミン市でホーチミン市経済大学(UEH)(本学の海外協定校)の学生と英語で交流しながら友情を深め、私たちが直面する共通の課題について共に考える多文化共修プログラムです。第3回となった本研修は、「特別授業」単位付与科目(2単位)として実施しました。以下、参加学生の研修成果を紹介します。

【研修概要】

- (1) 研修校:ベトナム・ホーチミン市経済大学(本学協定校)
- (2) 研修期間:2025年8月1日~8月15日(15日間)
- (3) 研修参加数:14人・全行程引率者1人
- (4) 事前オリエンテーション
- (5) 研修の趣旨・目的について
 1. ベトナムにおいてホーチミン市経済大学の学生等と英語で交流・共修を行い学びを深めること。
 2. 『国際学生サミット』の準備・実施に向けてベトナムの学生と共に努力することで、SDGsゴール17「グローバルパートナーシップ」の重要性に気づくこと。
 3. 英語コミュニケーション力の重要性に気づき、研修後の英語学習につなげること。



【研修成果】

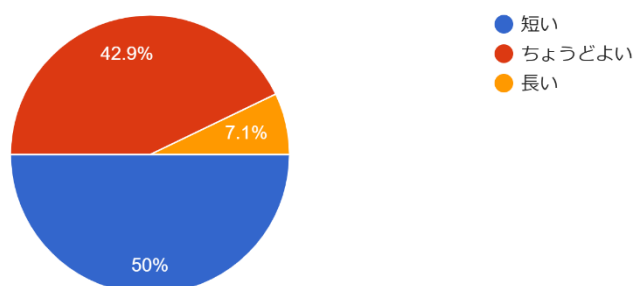
- ・英語リスニング力、自分 1 人で問題を解決する力。
- ・英語リスニング力。
- ・英語でのコミュニケーションスキルが身に付いた。難しい表現を用いず、なるべくシンプルな表現を使うことで、より通じやすくなることがわかった。
- ・英語を全くできない状態から 1 日目が始まりとても不安だったが、周りの仲間にも協力してもらい、日が経つにつれてベトナム人の英語が聞き取れるようになりました。また、ベトナム人とも少しずつ英語で話すことができるようになりました。最後は英語でベトナム人に「浴衣をあげたい」と伝え、浴衣をあげました。初日の自分だったら、英語が喋れないのと内気なタイプだったためできないと思いました。また、浴衣をあげることで、ベトナム人がより日本に興味をもってもらえ、日本の文化の共有もできたので良かったです。異文化を理解することは、新しい経験でありとても楽しいことであると感じました。
- ・英語での会話は文法や単語も重要、何よりも相手と話そうとする気持ち、そして伝えようという気持ちを持つことが大事だと学びました。異文化理解においてはもちろん、英語を使用して相手の文化について調べたり質問したりして会話を通じて理解するのと、実際に文化を体験したり、ベトナム語を話したりすることで一気に距離を縮めることができました。
- ・英語コミュニケーション力全般を養うことができました。具体的には語彙力の向上だけでなく、本研修独自のものとして、英語面における瞬発力が挙げられます。ベトナム人の学生と同室での宿泊を通して、単語を考えて黙ってしまうのではなく、自分自身の持つ語彙の中で代用し、素早く返答する力が身につきました。
- ・リスニング力、コミュニケーション力、適応力、知識、仲間の大切さ、異文化体験の楽しさ。
- ・英語コミュニケーション力全般、異文化理解力。
- ・初対面の人達と課題を解決していく力がついた。また仲間の大切さに気がついた。朝から夕方までベトナムの学生と行動し、夜ホテルに戻ってから日本人同士で今日あった出来事を共有した。その度に他の人がどのように感じ、どう考え対処したのか知ることができ、自分の考えも広がった。
- ・ベトナムの学生は、小学校のころから英語尽くしの生活をしてきたことで、ネイティブ表現をよく使っていました。そのため、使っている単語が難しく理解できない場面が多々ありました。また、発音にベトナムのなまりが入っていることで、最初は意思疎通に戸惑いがありました。しかし、2 週間の期間を通して毎日英語でコミュニケーションをとることで徐々にリスニング力が上がってきたと実感しました。特に、引率の先生や周りの生徒から英語力がちゃんと伸びているよと言われてとてもうれしかったです。しかし、ベトナムの学生と会話したいことはたくさんあるのにも関わら

ず、英語のフレーズがわからないことで伝えられないという場面が多くあり、やむなく翻訳アプリを使うことがありました。翻訳アプリで言いたいこと打っている間に相手を待たせてしまい、自分の言葉で直接伝えられたらと、もどかしさと悔しさを実感しました。そのため、この研修を通して仲良くなった友達と次回会う時まで、英語の勉強に励み、自分の英語で伝えられるようにするという具体的な目標が立ちました。

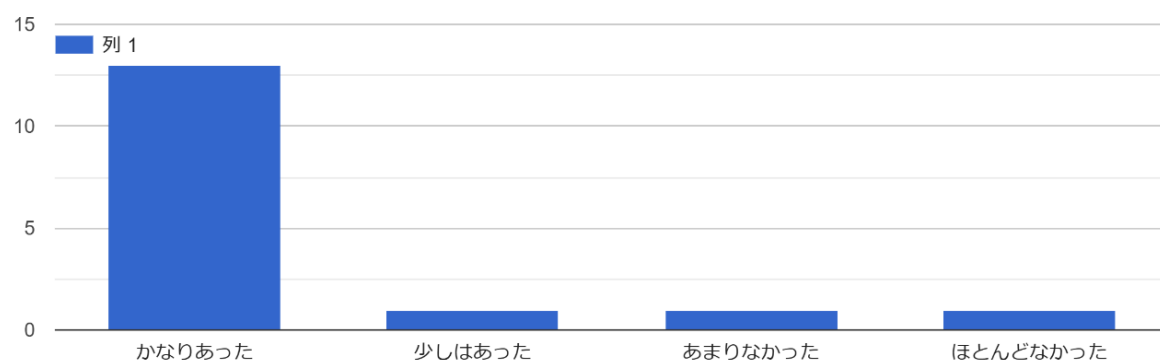
- ・異文化理解、現地の食事や観光を体験できること、英語スピーキング力。
- ・英語でのコミュニケーション能力、異文化理解、異文化の人との共生の難しさ、英語リスニング力。
- ・文法にとらわれない英語を学ぶことが出来た。
- ・コミュニケーション能力、適応能力、スピーキング

研修期間の長さはいかがでしたか。

14件の回答



英語で交流する機会はどの程度ありましたか。



【現地の研修全般について感想】

- ・本当にいい機会でした。参加してよかったと心から感じます。素晴らしい機会を提供してくださって、本当にありがとうございました。
- ・スケジュールが詰まっていて、全体的にハードな研修だった。しかし、その分ベトナムの現地事情について詳しく知ることができた。
- ・ベトナムでも日本でも大切な仲間ができて、とてもいい経験だと思いました。間違いなく大学で一番の思い出になったと思いました。
- ・毎日ハードスケジュールで食事も合わなかったのも、体力が常に奪われてしまい、ベトナムの学生と交流することよりも、いかに体調を崩さないで乗り切れるかという部分に焦点があたってしまったことが厳しかったです。ただ、スケジュールに関しては、日本人学生の多くは同じ思いだったようで、ベトナムリーダー達へのアンケートで「室内活動を増やしてほしい」と書いた人が何人もいたみたいで、徐々にスケジュールにゆとりができてきて良かったです。
- ・ベトナム語、日本語についてお互いに授業しあったり、博物館や統一会堂、クチトンネルなどに行き説明を聞くことで、ベトナムの歴史についても沢山学ぶことができました。ホーチミン市の観光をすることで実際に現地の人々の生活を知ることができました。学生サミットの準備はとても大変でしたが、UEHの学生のやり方や考え方、向き合い方などがとても刺激になり、活動の中で本当に沢山のことを学ぶことができました。英語や文化以外の学びも多い研修でした。
- ・人生で一番記憶に残る宝物です。期間を延ばしたい！
- ・全く知識のない分野でも現地の学生が説明してくれて安心できる。交流を深められるような研修が満載で楽しめる。
- ・2週間濃密な毎日をお過ごしたため疲れも感じましたが、それ以上に毎日全く新鮮なことに出会い、一生の記憶に残る研修になったと思います。個人的に毎日3食(ほぼ)違うご飯が食べられたことが嬉しく、同時に手配していただいた方にありがたみを感じています。
- ・2週間の毎日は、とても充実していてあっという間でした。食事に関しても、日本人の口に合うようにと現地の方がとても配慮してくださいました。すべてのことに関して、ベトナムの方々はとても親切で優しくいい思い出しかありません。
- ・何もかも、完璧でございました！

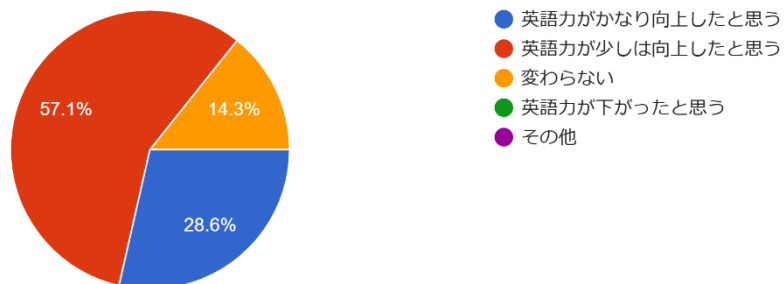
「英語力が伸びた点について」

- ・聞き取れるようになった、英語を実践的に使うシーンを体感できた。
- ・リスニングがかなり向上したと思う。現地の学生の発音が比較的聞き取りやすく、様々な表現を覚えることができた。
- ・ベトナムに来て初日は全く聞き取れなかったが、日が経つにつれてベトナム人の英語が聞き取れるようになった点。

- ・どんな状況でも英語を使って意思疎通をする即興力が伸びたと思います。間違えても後から正しい表現を調べて使用することで、今まで馴染みがなかった表現も会話で使えるようになりました。
- ・自分の考えをすぐに言葉に変換する。単語面で不足しているものを、他の部分で代用するという点で伸びたと考えます。
- ・リスニング力とどうにかして伝えようとする力が向上しました。
- ・コミュニケーション能力。
- ・初日と最終日を比べるとリスニング力が向上したと感じた。
- ・リーディング力というよりも、リスニング力が伸びたと感じました。なぜなら、英語で会話するため、毎日英語をたくさん聞いていたからです。
- ・現地の友達に初めて会った時より、英語が上手に話せていると言われた。
- ・英語でのコミュニケーションのとり方が上手くなった。
- ・言葉選び(欧米向け、アジア向けなど)。

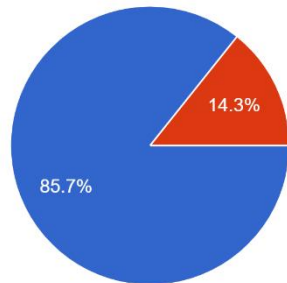
ご自身の英語力について、研修前と研修後を比較してどのように感じますか。

14件の回答



研修前に比べて、視野が広がったと思いますか。

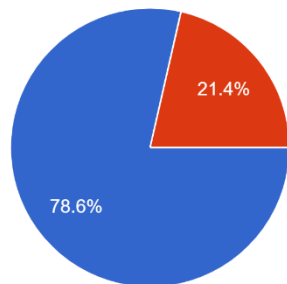
14件の回答



- かなり広がったと思う。
- 少し広がったと思う。
- 研修前と変わらない。
- その他

ベトナムの学生たちはあなたと交流に熱心に取り組んでくれましたか。

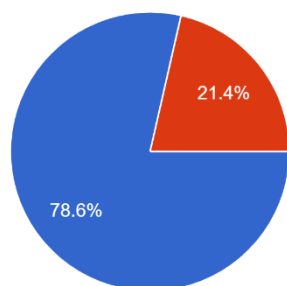
14件の回答



- とても熱心に取り組んでくれた
- どちらかという熱心に取り組んでくれた
- どちらとも言えない
- あまり熱心に取り組んではくれなかった
- まったく熱心に取り組んではくれなかった

今回の研修に参加してよかったと思いますか。

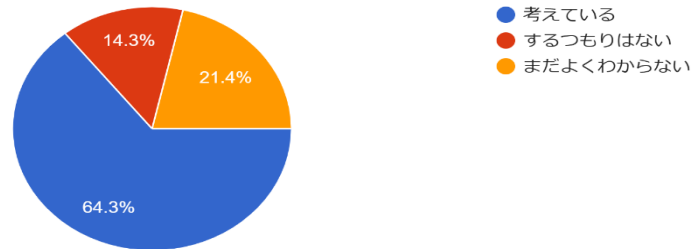
14件の回答



- とてもよかったと思う
- よかったと思う
- あまりよかったとは言えない
- まったくよかったとは言えない
- その他

今後、長期（半年や1年程度）の留学に挑戦したいと思いますか。

14件の回答



【研修内で特に印象に残ったこと】

- ・ベトナムの学生はとても勤勉だと思いました。
- ・SOMO ファームでの研修。
- ・現地の学生が行ったプレゼンテーションのスライドがとてもクオリティが高かった。
- ・英語が聞き取れなくてもしゃべれなくても、ジェスチャーと雰囲気で言いたいことが少しわかるように感じました。
- ・ベトナムの人の温かさです。VJYE の参加者は、初日の空港やオープニングセレモニーで、何も知らず関わりがなかった私たちを温かく歓迎してくれました。セレモニーの会場に入った瞬間のみんなの笑顔やエネルギッシュな雰囲気で緊張がほぐれたのを覚えています。特に文化の日には沢山の UEH の生徒が沢山話しかけてくれて日本が好きだと言ってくれる人も沢山いて嬉しかったし、日本文化パフォーマンスの時には横断幕をもって応援してくれているのを見てステージでラジオ体操をしながら泣きそうになってしまいました。最終日にはサプライズで空港まで見送りに来てくれて本当に嬉しかったです。
- ・ベトナム人と宿泊したホテルでのお互いの家族の話が印象に残りました。ベトナムという国においては就職先等の進路は親の意向が強く反映されるということが、日本よりも顕著であり、国によって教育の面でも違いがあることに気づきました。
- ・毎日が濃すぎたけど、日本文化の発表会ではアクシデントに見舞われたりして、それでもみんなが夜な夜な頑張ったから本当に最高でした。
- ・空港でのお別れの時。
- ・お店のスタッフさんに「シンチャオ」、「シンカモン」と言ったとき、にこやかに頷いて返事してもらったこと。
- ・文化パフォーマンスが一回だけだと聞いていたのに、実際にはビンロンキャンパスでもあることを現地で知ったことです。
- ・最後の空港での別れ、こんなに名残惜しい別れになるとは思わなかった。

以上